

# 調べの構造

## 観る

スズムシの生態を観察してみよう

自然の中のスズムシは、薄暗い林の中で、ちょっと湿っぽい草むらが好みようです。ほとんど地上で生活しており、木の根や木切れ、石の間などに暮しています。夜になると、ナラやクヌギの根ぎわから約三十センチぐらいのところまで登って、一晩中鳴くと言われています。このスズムシの様子をそっと近づいて観察してみましょう。

## スズムシ

### ● オスとメスの区別

生まれたばかりのスズムシでは、オスとメスを区別するのはむずかしいのですが、成長しスイカの種ぐらいの大きさになるとメスの腹部（おしり）に小さな産卵管があらわれます。成虫になると十二ミリぐらいになります。翅はオスの方がメスより幅広で、模様も大柄で複雑に入り組んでいます。鳴くのは成虫のオスだけです。



翅幅（はねはば）が広いオス



産卵管のあるメス

